



能登半島地震で被害に遭われた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。 文：小川 康成  
 震度7の激震により甚大な被害が発生しました。弊社は皆様に保険を通じて事後の備え、再出  
 発の支えになる資金として保険金お支払いのお手伝いしておりますが、改めて社員一同我々が  
 行っている仕事の意義を再認識させられた年頭となりました。

## 能登地震と住宅耐震化

元日に発生した能登半島地震で亡くなった方の4割が圧死との事です。大きな被害を受けた街に共通しているのは**建物の古さによる低い耐震化率**です。**建築基準法の耐震基準は昭和56年(1981)6月1日**に改正されより強靱な住宅しか建てられないようになりました。

しかし、全国平均では持ち家3,032万戸のうち**34.2%・1,038万戸が耐震診断も耐震改修工事も受けていません**。\*総務省統計

耐震化していれば、建物の倒壊を防ぎ一部損壊程度ですみ、倒壊による圧死や火災被害も防げたと見る研究者も多いようです。

田舎へ行くほど就職や結婚を機に若い人たちが都会に出てしまう事で、結果的に高齢者だけが田舎に残る事になり、住宅の建て替えや改修が進んでいません。今回の地震で倒壊した多くの建物が、そのような建物で、日本の大都市への人口集中問題の副作用が被害を拡大したとも見られます。

表3 昭和55年以前に建てられて耐震診断も耐震改修工事もしていない持ち家数

	持ち家総数 (戸)		割合 (%)
	1)	昭和55年以前に建てられて耐震診断も耐震改修工事もしていない	
全国	30,316,100	10,378,600	34.2
島根県	182,400	93,300	51.2
鳥取県	146,000	68,200	46.7
秋田県	298,100	137,000	46.0
富山県	285,700	128,500	45.0
岩手県	338,600	151,300	44.7
山口県	387,800	172,500	44.5
佐賀県	198,200	87,700	44.2
山形県	289,100	126,800	43.9
岡山県	488,800	214,200	43.8
大分県	292,700	127,200	43.5
徳島県	204,900	88,900	43.4
愛媛県	376,600	163,200	43.3
高知県	208,900	90,400	43.3
鹿児島県	472,400	203,400	43.1
長崎県	354,100	152,200	43.0
福島県	481,200	205,500	42.7
福井県	200,900	85,600	42.6
香川県	264,400	111,400	42.1
熊本県	426,800	179,200	42.0
和歌山県	278,200	116,800	42.0
石川県	291,400	122,200	41.9
宮崎県	292,900	122,300	41.8
新潟県	599,400	245,000	40.9
岐阜県	526,300	214,500	40.8
沖縄県	253,000	101,700	40.2
広島県	701,800	280,300	39.9
青森県	353,900	135,300	38.2
長野県	549,100	207,400	37.8
群馬県	512,800	187,400	36.5
京都府	660,500	240,800	36.5
山梨県	218,300	79,100	36.2
福岡県	1,090,400	382,300	35.1
三重県	497,000	174,000	35.0
奈良県	364,600	126,700	34.8
茨城県	732,900	252,500	34.5
栃木県	486,500	164,900	33.9
宮城県	529,000	175,000	33.1
大阪府	1,951,800	640,400	32.8
北海道	1,339,200	436,400	32.6
滋賀県	346,000	112,200	32.4
兵庫県	1,379,000	418,300	30.3
千葉県	1,510,900	448,700	29.7
静岡県	881,400	258,200	29.3
愛知県	1,599,000	462,000	28.9
埼玉県	1,755,100	470,400	26.8
東京都	2,650,900	701,600	26.5
神奈川県	2,066,600	515,900	25.0

1) 建築の時期「不詳」を含む。

## まずは耐震診断の受診と火災保険で備えましょう



建物の倒壊危険度を調べる「**耐震診断**」を各市町村では無料または格安で行っております。危険度が高いとされた建物には耐震改修工事の補助金が出る事もあり、S56年以前に建築された建物にお住まいの場合、市町村の耐震診断を受けてみる事をお勧めいたします。ただ、インターネット等で検索される業者の中には、法外な料金を請求する業者が確認されておりますのでご注意ください。

事後の備えとして、**生活再建の資金となる火災保険に付帯する「地震保険」**が有用です。政府が補償している国民生活の保護を目的とした制度なので必ず加入しましょう。また、最近**地震保険の上限補償額50%を超える損害を補償できる特約**も発売されております。こちらを活用すれば**建物の再建資金を100%手当**できますので検討したいところです。

あとは、被災時に必要となる防災グッズや非常食の準備もご確認ください。以前ご案内した通り、保険会社でも斡旋しておりますので、ご入り用の方は、弊社へ連絡下さい。



## メンバー 近況報告

### 勉強になりました

西井 紗輝子



先月、自宅の賃貸アパートの洗面ボールの修理をして貰いました。少し前に化粧瓶を誤って落としてしまいキズが入り、時間が経つとかなりのヒビになっていました。その事を事務所で話していた時、入居時に加入していた賃貸者向けの火災保険の補償で対応できることを知り、保険会社へ事故報告して対応して貰った結果、自己負担をせずに最新のデザインの洗面ボールに変わりました。入社前までは、賃貸アパート室内の自身の不注意で起こしてしまった事は全て自分の責任で修理しないといけないと思っていましたので、とても勉強になりました。賃貸契約の時は、アパートの契約と併せ保険の補償内容も分からずに半分強制加入?でしたが、**きちんと説明してくれる専門家の必要性を実感**しました。

話は変わりますが、昨年秋に入会した商工会議所の女性会で、1月下旬に新年例会と懇親会をお店で行いました。20人位の参加者でしたが、まだ加入したばかりで緊張していた中、2月や3月に行う例会の内容報告、4月に行われる「せと陶祖まつり」で行う協賛事業についての確認が行われた後、懇親会が始まりました。食事をしながらの交流でしたので、少しでも早く皆さんと馴染めるよう周りの方とお話しを心掛けながらお食事も美味しく頂きました。まだまだ色々と勉強が必要と思った年頭でした。

### 今年目標

岩瀬 英之



寒くなってくるとなかなか外に出るのも嫌になってくるので、毎年この時期はテニスの練習の頻度が減ってしまっていました。春になっても練習不足もあまり調子が上がってこないことが多いので、練習しなきゃなと思いつつ出来ていませんでした。なので、今年は年間目標を決めてやる気を出してみようと考えました。テニスはずっと続けていますが、これまでこれといった目標がなかったので瀬戸市テニス協会主催の春季ダブルス、ミックスマックス、シングルス、秋季ダブルスの4大会をすべて優勝することを目標にしました。まず3月に春季ダブルスがあるのでそれに向けて練習していきたいと思います。昨年からは始めたゴルフもせっかくやるならうまくなりたいので、年内にスコア100を切れるようにすることを目標しました。今月は品野台カントリークラブで人生2回目のコースに出るので、前回の自分のスコア129をまず切れるようにしたいと思います。今年は目標を決めていたこともあり年始からあまり頻度減らすことなく、テニスもゴルフも練習することができています。この調子で練習して、両方の目標達成したいと思います。

### ペットボトルキャップ回収しています！！



小川 真紀

瀬戸市では、2022年頃からゴミの分別が細くなり、2024年秋からは処理費用の有料化などからゴミ袋の販売価格が高くなりました。他の市町村から遅れていた事ですが、今までは、燃えないゴミとして出せられる物が多く簡単でしたが、ごみ分別辞書「へらせっと大辞典」が出来るほどゴミ出しルールが細くなり、少し大変ですよね。分別すると自宅ではプラスチックゴミやミックスペーパーゴミ、事務所でペットボトルゴミなどがたくさん出るので、何か再利用など出来ないか調べると、「ペットボトルキャップ支援を始めよう」の団体を見つけました。集めたペットボトルキャップを回収業者に持ち込み、回収業者がキャップをリサイクル素材に換え、売却した利益が団体へ寄付される方法です。

回収業者でペットボトルキャップがプラスチックのリサイクル資源に生まれ変わりますし、寄付金は団体がUNICEFと連携して、子どもワクチン支援に繋がります。キャップ500個で約1kg、2kgで子どもワクチン1人分になるそうです。身近なことから始められる支援と言うより、捨ててしまう物が誰かの何かになればと思い、事務所に回収BOXを設置しました。ご協力いただける方は、事務所のBOXまたはお会いした弊社の者に渡して下さい。

